

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	810	中心市街地等商店街活性化事業	01	01	一般会計
基本施策	45	住む人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	07	07	商工費
			01	01	商工費
			02	02	商工振興費
担当課名		産業振興部 商工政策課	104	104	中心市街地等商店街活性化事業
作成者氏名	川崎末博	連絡先	22-9672 (内線2750)	01	中心市街地等商店街活性化事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	中心市街地区域内及びその周辺地域の商店街	商工会議所、地元商店街組合と連携し、地域住民との交流があるまちづくりを推進するため、各事業の委託又は補助をすることにより、商店街に賑わいが取り戻せる
本年度事業内容	市民夏のにぎわいフェスタ事業委託・一店逸品運動及び逸品フェア補助・いきいき元気セール補助・銀座商店街賑わい創出事業補助・TMO運営事務補助・中心市街地活性化基本計画策定委託	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等
		伊賀市補助金交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	1	1.9	1.9
	人件費合計(A)	7,200	13,680	13,680
支出内訳(千円)	事業費(B)	11,551	9,326	6,406
	委託料	8,646	6,350	3,350
	補助金	2,668	2,730	2,810
	その他	237	246	246
合計(A+B)		18,751	23,006	20,086
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	3,250	3,000	
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	15,501	20,006	20,086	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
空店舗数	所	55	55	54			
商店街加盟店	店	277	280	280			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
中心市街地区域内空店舗数	空店舗状況を把握することにより、事業効果を計ることができる	所	55 目標 ()	55	54
商店街加盟店	各商店街の加盟店を把握することにより、事業効果を計ることができる	店	277 目標 ()	280	280

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

中心市街地の衰退により、空店舗空地が増えているなか、新しいまちづくり3法に基づき国の認定を受けるための新中心市街地活性化基本計画を策定することになり、商業活性化、市街地整備及び都市機能集積が図られることとなった。今後は、既存事業だけでなく画期的な新規事業を展開していかなければ活性化はありえないと考える。

評価	必要性	4	中心市街地の商業活性化、整備事業及び都市機能集積を行うための中心市街地活性化法に基づく事業と連携することにより、中心市街地に賑わいを取り戻すことができるため、継続して事業を実施する必要がある	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A